イントロダクション

・日商簿記２級の概要（詳しくは商工会議所へお問い合わせ下さい）

①　試験科目：商業簿記・工業簿記（原価計算含む）　5題以内

②　試験時間：90分

③　合格点：70%以上

④　試験形式：統一試験（紙試験）、ネット試験（CBT試験）

⑤　試験日：統一試験；2月第4日曜日、6月第2日曜日、11月第3日曜日
　　　　　　　ネット試験；受験停止期間を除き、随時

⑥　筆記用具（統一試験）：ＨＢまたはＢの黒鉛筆、シャープペン、消しゴムに限る。

⑦　電卓、そろばん（ネット試験はそろばんの使用不可）の使用可。ただし、印刷（出力）機能、メロディー（音の出る）機能、プログラム機能、辞書機能（文字入力を含む）があるものは不可。日数計算、時間計算、換算、税計算、検算（音の出ないものに限る）はプログラム機能に該当しない。

⑧　ネット試験（CBT試験）の注意事項は商工会議所のサイトでご確認下さい。

・学習の仕方

　統一試験（紙試験）を前提とした講義を行っています。ネット試験を考えている方も学習は紙を前提に行って下さい。

　授業を受けていただき、授業の内容を理解することが大切です。授業を受けた後も、理解できるまでテキストを繰り返し読んで下さい。

　また、簿記は授業を聴くだけでは身につきません。必ず、実際に自分で手を動かして問題を解くようにして下さい。まずは、テキストの例題を解けるようにして下さい。

　自己学習用教材として、問題集を用意しています。テーマごとに問題を用意していますので、試験当日までこれらの問題を繰り返し解いて、簿記力を高めて下さい。

・重要性について

　各論点ごとに「Ａ・Ｂ・Ｃ」

　　Ａ：試験に頻出している論点なので、必ずマスターすべき論点です。

　　Ｂ：最近の試験ではほとんど出題されていない論点ですが、それほど難易度が高くないため、時間がある方はマスターしてほしい論点です。

　　Ｃ：最近の試験ではほとんど出題されていない論点で、かつ、難易度も高い論点なので、ＡとＢの論点をマスターした方で、なお、時間がある方のみ学習すれば良い論点です。

財務諸表

日商簿記３級で学習した内容

・損益計算書と貸借対照表のひな型

・当期純利益の算定

損益計算書の区分表示

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　P/Lの区分表示を覚えよう！

②　５つの利益を覚えよう！

（１）ひな形

損益計算書（P/L）とは、一会計期間において発生した収益と費用を記載して、**経営成績**を表す報告書です。

日商簿記３級ではT字型（勘定式）の損益計算書を学習しましたが、2級では以下のような報告式の損益計算書も出題されます。したがって、今後は、収益については「売上高、営業外収益、特別利益」のどこに計上されるのか、費用については「売上原価、販売費及び一般管理費、営業外費用、特別損失」のどこに計上されるのかを覚えて下さい。

損　益　計　算　書

自2030年4月1日　至2031年3月31日

Ⅰ 売上高		×××
Ⅱ 売上原価		
1 期首商品棚卸高	×××	
2 当期商品仕入高	×××	
合計	×××	
3 期末商品棚卸高	×××	×××
売上総利益		×××
Ⅲ 販売費及び一般管理費		×××
営業利益		×××
Ⅳ 営業外収益		×××
Ⅴ 営業外費用		×××
経常利益		×××
Ⅵ 特別利益		×××
Ⅶ 特別損失		×××
税引前当期純利益		×××
法人税、住民税及び事業税	×××	
法人税等調整額	×××	×××
当期純利益		×××

（2）区分表示

① 売上総利益の算定

売上高から**売上原価**を差し引いて、**売上総利益**を算定します。売上高は商品を販売したことによる収益、売上原価は販売した商品の購入原価である費用、売上総利益は商品売買から得られた利益（粗利）です。

売 上 高 － 売上原価 ＝ 売上総利益

なお、売上原価は通常、その内訳である「期首商品棚卸高、当期商品仕入高、期末商品棚卸高」も記載します。

② 営業利益の算定

売上総利益から**販売費及び一般管理費**を差し引いて、**営業利益**を算定します。販売費は販売活動に関する費用、一般管理費は管理活動に関する費用、営業利益は会社の本業から得た利益です。

売上総利益 － 販売費及び一般管理費 ＝ 営業利益

③ 経常利益の算定

営業利益に**営業外収益**を加え、**営業外費用**を差し引いて、**経常利益**を算定します。営業外収益は主に財務活動に関する収益、営業外費用は主に財務活動に関する費用、経常利益は会社の本業の他、財務活動等も含めて、毎期経常的に得ることができる利益です。

営業利益 ＋ 営業外収益 － 営業外費用 ＝ 経常利益

④ 税引前当期純利益の算定

経常利益に**特別利益**を加え、**特別損失**を差し引いて、**税引前当期純利益**を算定します。特別利益は臨時的な取引から生じた収益、特別損失は臨時的な取引から生じた費用です。

経常利益 ＋ 特別利益 － 特別損失 ＝ 税引前当期純利益

⑤ 当期純利益の算定

税引前当期純利益から、**法人税、住民税及び事業税**や**法人税等調整額**などの税金費用を差し引いて、**当期純利益**を算定します。当期純利益とは、当期のすべての活動によって得た利益です。

税引前当期純利益 － 税金費用 ＝ 当期純利益

貸借対照表の区分表示

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

① B/Sの区分表示を覚えよう！

② ２つの流動固定分類の基準を理解しよう！

（１）ひな形

<u>貸借対照表(B/S)</u>とは、<u>一時点における資産、負債及び純資産を記載して、**財政状態**を表す報告書</u>です。

日商簿記３級ではT字型（勘定式）の貸借対照表を学習しましたが、2級ではそれ以外に以下のような区分表示した貸借対照表も出題されることがあります。したがって、今後は、資産については「流動資産、固定資産」のどこに計上されるのか、負債については「流動負債、固定負債」のどこに計上されるのかを注意して下さい。

貸　借　対　照　表

2031年3月31日

資　産　の　部		負　債　の　部	
Ⅰ　流　動　資　産	×××	Ⅰ　流　動　負　債	×××
Ⅱ　固　定　資　産	×××	Ⅱ　固　定　負　債	×××
		純　資　産　の　部	
		Ⅰ　株　主　資　本	
		1　資　本　金	×××
		2　資本剰余金	×××
		3　利益剰余金	×××
		Ⅱ　評価・換算差額等	
		1　その他有価証券評価差額金	×××
資　産　合　計	×××	負債及び純資産合計	×××

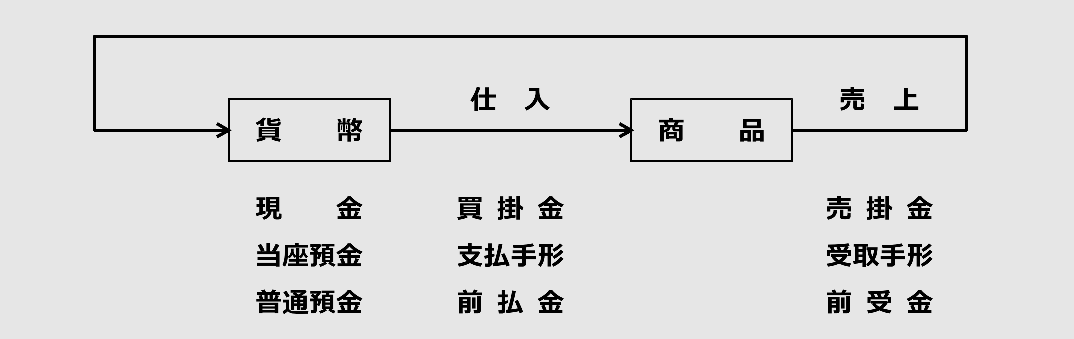
（2）区分表示

資産・負債を流動項目と固定項目に分類する基準は次の２つがあります。**正常営業循環基準**（せいじょうえいぎょうじゅんかんきじゅん）が主たる基準であり、**一年基準**（いちねんきじゅん）が従たる基準です。

つまり、正常営業循環基準を適用して正常な営業活動の循環過程内にあるものは流動項目とし、それ以外のものについては一年基準を適用して１年以内のものは流動項目とし、１年超のものは固定項目とします。

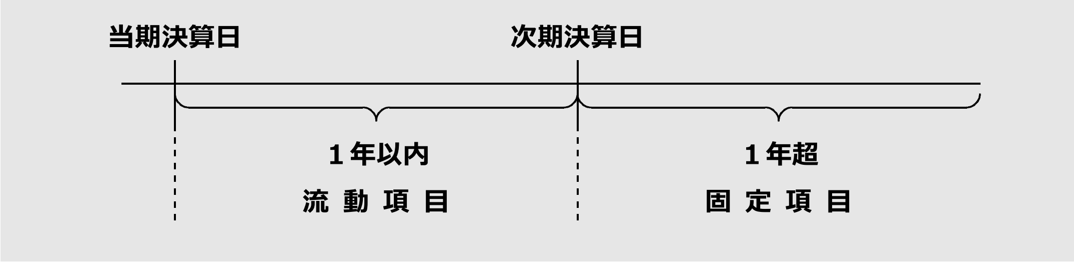
① 正常営業循環基準

正常営業循環基準とは、主たる営業活動（商品売買活動）の循環過程にあるものを流動項目とし、それ以外のものを固定項目とする基準です。



② 一年基準

一年基準とは、決算日の翌日から１年以内に現金化や支払期限が到来する資産及び負債を流動項目とし、１年を超えるものを固定項目とする基準です。



例題 **借入金100,000円は2030年2月１日に借り入れたものであり、内訳は以下のとおりである。なお、決算日は2030年3月31日である。**

20,000円　　返済日2031年1月31日

80,000円　　返済日2035年1月31日

決算整理後残高試算表（一部）

	借　入　金	**100,000**

借入金について、の決算日から１年以内に返済するものは貸借対照表上、流動負債に「短期借入金」として表示し、決算日から１年超えて返済するものは貸借対照表上、固定負債に「長期借入金」として表示します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
借　入　金	**100,000**	**短期借入金**	**20,000**
		長期借入金	**80,000**

貸　借　対　照　表（一部）

	負債の部	
	Ⅰ　流動負債	
	短期借入金	20,000
	Ⅱ　固定負債	
	長期借入金	80,000

財務諸表　問題

問題1　以下の①から⑩にあてはまる語句を記入しなさい。

損　益　計　算　書

Ⅰ	（　①　）		×××
Ⅱ	（　②　）		
	1　期首商品棚卸高	×××	
	2　当期商品仕入高	×××	
	合　計	×××	
	3　期末商品棚卸高	×××	×××
	（　③　）		×××
Ⅲ	販売費及び一般管理費		×××
	（　④　）		×××
Ⅳ	（　⑤　）		×××
Ⅴ	（　⑥　）		×××
	（　⑦　）		×××
Ⅵ	（　⑧　）		×××
Ⅶ	（　⑨　）		×××
	税引前当期純利益		×××
	法人税、住民税及び事業税		×××
	（　⑩　）		×××

問題2　以下の①から⑤にあてはまる語句を記入しなさい。

貸　借　対　照　表

資　産　の　部		負　債　の　部	
Ⅰ（　　①　　）	×××	Ⅰ（　　③　　）	×××
Ⅱ（　　②　　）	×××	Ⅱ（　　④　　）	×××
		純 資 産 の 部	
		Ⅰ　株　主　資　本	
		1　資　本　金	×××
		2　資本剰余金	×××
		3　利益剰余金	×××
		Ⅱ　評価・換算差額等	
		1　その他有価証券評価差額金	×××
資　産　合　計	×××	負債及び純資産合計	×××

財務諸表　答案用紙

問題1

①		②		③	
④		⑤		⑥	
⑦		⑧		⑨	
⑩					

問題2

①		②		③	
④					

財務諸表　解答解説

問題1　**解答**

①	売上高	②	売上原価	③	売上総利益
④	営業利益	⑤	営業外収益	⑥	営業外費用
⑦	経常利益	⑧	特別利益	⑨	特別損失
⑩	当期純利益				

問題1　**解説**

損益計算書

Ⅰ（① **売上高**）		×××
Ⅱ（② **売上原価**）		
1 期首商品棚卸高	×××	
2 当期商品仕入高	×××	
合計	×××	
3 期末商品棚卸高	×××	×××
（③ **売上総利益**）		×××
Ⅲ 販売費及び一般管理費		×××
（④ **営業利益**）		×××
Ⅳ（⑤ **営業外収益**）		×××
Ⅴ（⑥ **営業外費用**）		×××
（⑦ **経常利益**）		×××
Ⅵ（⑧ **特別利益**）		×××
Ⅶ（⑨ **特別損失**）		×××
税引前当期純利益		×××
法人税、住民税及び事業税		×××
（⑩ **当期純利益**）		×××

問題2　**解答**

①	流動資産	②	固定資産	③	流動負債
④	固定負債				

問題2　**解説**

貸　借　対　照　表

資　産　の　部		負　債　の　部	
Ⅰ (①**流　動　資　産**)	×××	Ⅰ (③**流　動　負　債**)	×××
Ⅱ (②**固　定　資　産**)	×××	Ⅱ (④**固　定　負　債**)	×××
		純 資 産 の 部	
		Ⅰ　株　主　資　本	
		1　資　本　金	×××
		2　資本剰余金	×××
		3　利益剰余金	×××
		Ⅱ　評価・換算差額等	
		1　その他有価証券評価差額金	×××
資　産　合　計	×××	負債及び純資産合計	×××